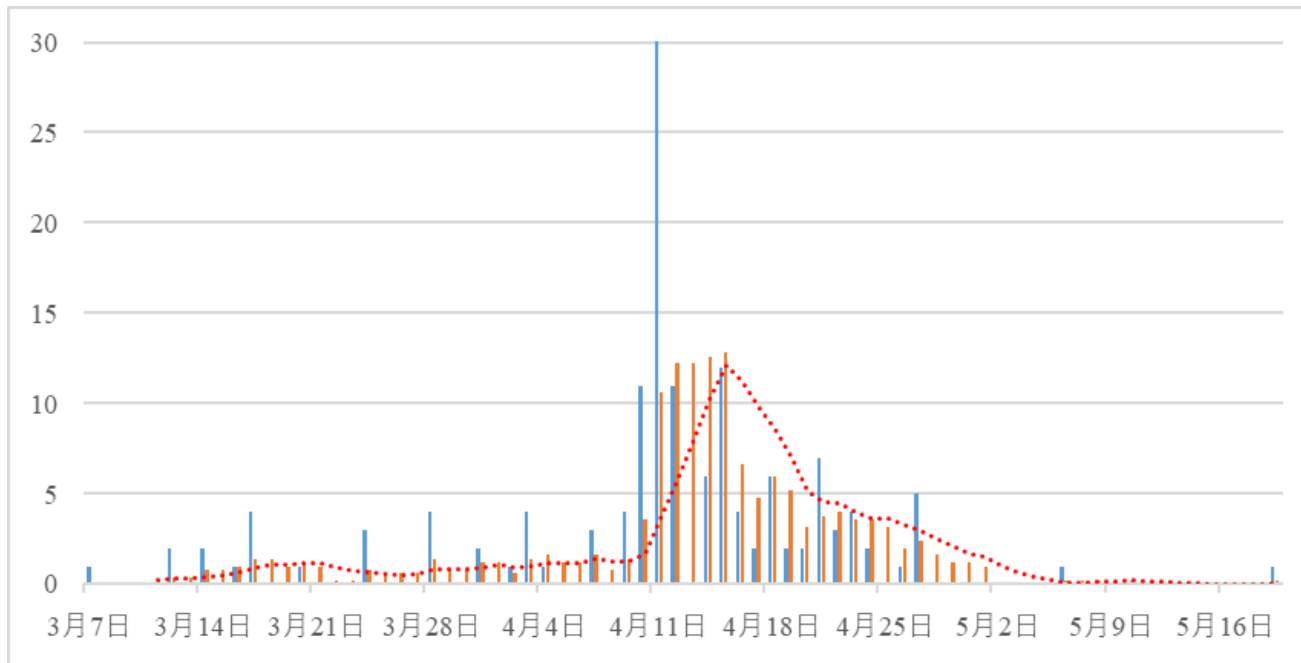


新型コロナウイルス感染症
流行シミュレーション作成事業
結果（2020年5月19日版）

群馬大学大学院医学系研究科公衆衛生学分野

I 流行のリアルタイム評価

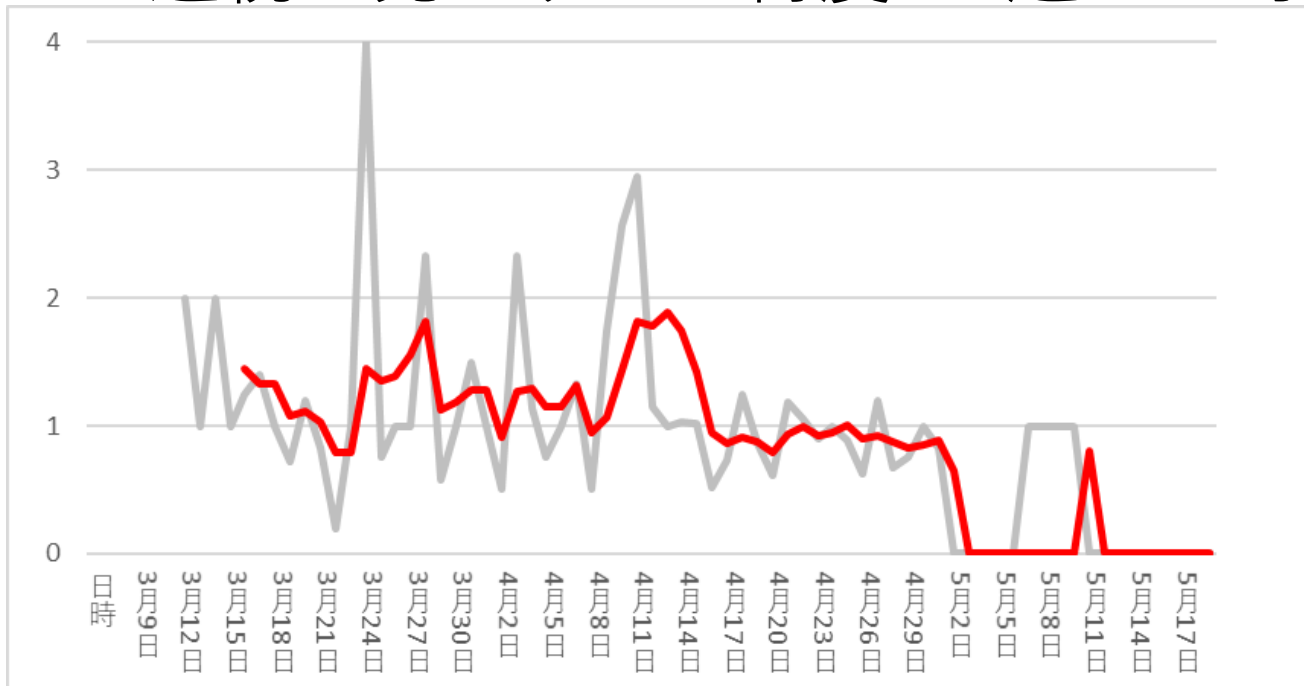
- 4月後半からPCR陽性者の報告はほぼ0件の状態が続いている。
- 現在群馬県では、コロナウイルス感染症の流行は起きていないと考えられる。



青：報告者数
橙：移動平均（5日）
破線：橙の近似曲線

I 流行のリアルタイム評価

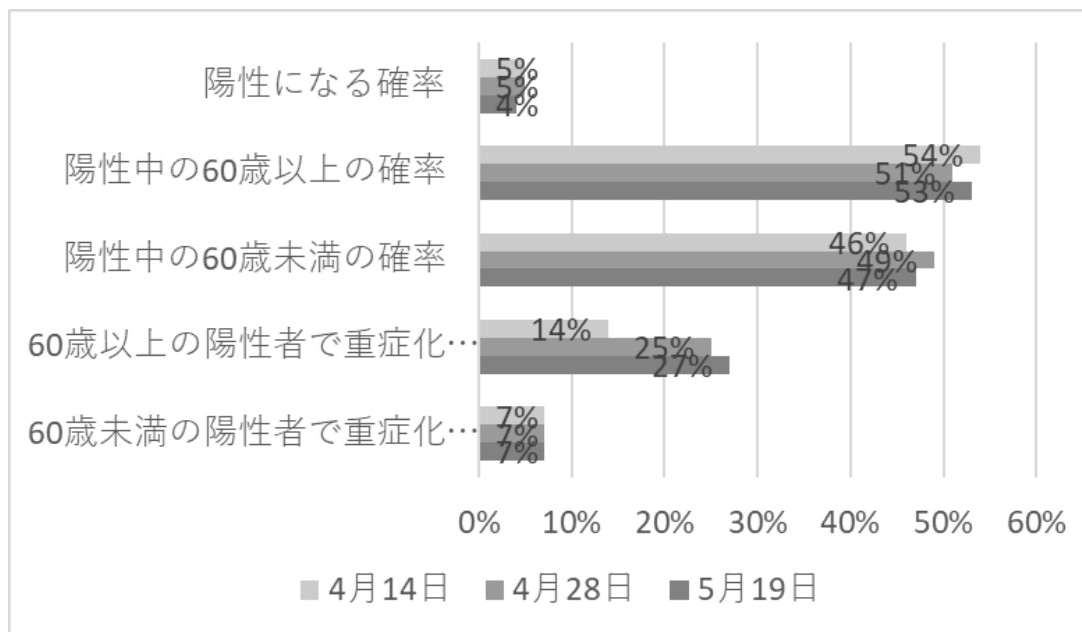
- PCR陽性者数による実効再生産数の推定は、最新値で0.0（正確にはNot Applicable：報告例が0人のために計算できない）。
- 今後も単発の事例では1を超えることはないが、連続で発生すると再度1を超える可能性がある。



灰：実効再生産数
赤：5日の移動平均値

Ⅱ PCR検査結果予測

- 累積のPCR検査件数からどのくらいの確率で陽性者が出るか推定(Rstanを使用)した。
- 陽性者が見つかる確率は5%から4%に微減。
- 60歳以上と60歳未満の割合はおよそ半分。
- 60歳以上で重症化する確率は14%から27%に増加していた。



まとめ

- 現在群馬県ではPCRによるコロナウイルス陽性者数はほとんど報告されておらず，4～5月の連休の終了後も感染の流行は起きていないと判断することができる。
- しかし全国的にはまだPCR陽性者が散発しており，引き続き感染症対策は必要である。
- 検査に対するPCR陽性の確率は5%から4%に微減していたが，60歳以上の症例で重症化する確率が増加していた。今後も引き続き，高齢者施設等における感染対策が重要である。